

たつのまち
議会
だより No.91



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

令和5年9月定例会開催
令和4年度決算認定

定例会・臨時会報告	2
総務産業常任委員会レポート	4
福祉教育常任委員会レポート	6
一般質問	9
町民の声	16

編集・辰野町議会広報編集委員会
発行・辰野町議会
発行日・令和5年11月1日



辰野町議会

7月臨時会 9月定例会で全議案

全会一致で
可決・認定

第6回臨時会 7月20日 一般会計補正予算（地方創生臨時交付金事業等）

第7回定例会 8月29日～9月20日 決算・補正予算等28議案、2報告 他

決算概要

（千円単位は四捨五入）

区分	歳入総額	歳出総額	形式収支
一般会計	106億5,486万円	101億6,858万円	4億8,628万円
特別会計	42億8,153万円	41億8,958万円	9,195万円
合計	149億3,638万円	143億5,816万円	5億7,823万円

一般会計歳出に関する主な質疑

（特別会計は、各常任委員会のページをご覧ください。）

■総務費

問 看板商品創出事業の成果は。

答 ガイドブックは、全戸配布したほか移住定住の相談会でも活用している。薬膳料理やツアーの取り組みは地域とのかかわりや募集の方法が課題。

問 コンビニ交付委託料3,629件は、窓口で交付するものに対してどのくらいの割合か。

答 住民票全体で22.9%。印鑑証明は30.2%。戸籍は7.2%。税の証明は4.2%。

■衛生費

問 風疹抗体検査事務手数料95人の内訳は。

答 昭和37年から54年の間に生まれた方が対象。

問 出産子育て応援金185件は。

答 令和5年2月からスタートした伴走型支援補助金だが、令和4年4月からの該当者を対象とした。

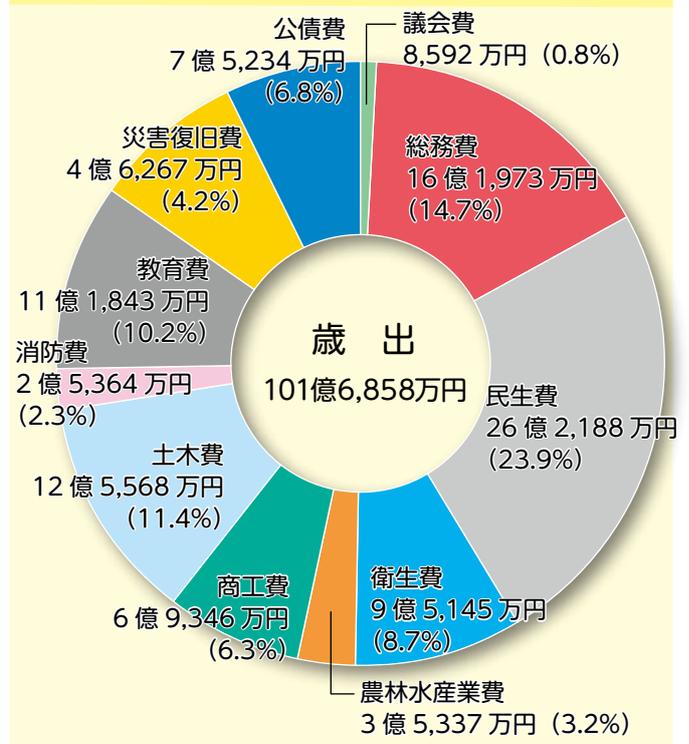
■教育費

問 未来館アラパの来館者数は。

答 令和元年45,335人をピークにコロナ禍の影響で利用者数が低下。令和2年25,220人、令和3年27,461人、令和4年32,403人、令和5年12,713人（7月まで）である。

一般会計歳出目的別内訳

（千円単位四捨五入のため、合計は一致しません）



問 修繕料は主にタブレットの修繕費のようだが、故意に落としてしまった場合等、修繕費の自己負担等考えた方がよいのでは。

答 故意の場合の自己負担等も検討しているが、保険に加入していてそちらでの対応を進めたい、リース物件の保険の為難しい部分がある。

その他主な議案

議案名（要約）	主な内容
犯罪被害者等支援条例の制定	犯罪被害者等が安心して暮らせる地域社会を実現するための制定。
再生可能エネルギー発電施設に関する条例の一部改正	第2条第2号中「30キロワット」を「10キロワット」に改める
農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部改正	平成6年辰野町辰野町条例13号を一部改正
辰野町営住宅管理条例の一部を改正	犯罪被害者等の居住の安定を図るため一部改正

請願・陳情審査、意見書発議

受理番号	件名及び趣旨、提出者及び紹介議員	委員会	本会議	意見書
請願 第14号	「健康保険証の交付を引き続き行うよう求める意見書」の提出を求める請願書 ・提出者：上伊那医療生活協同組合辰野支部 支部長 一ノ瀬静子 ・紹介議員：高木 智香	福祉教育 賛成 1 反対 5	不採択 賛成 3 反対 10	提出なし
	<p>【不採択に反対(吉澤)】 マイナンバーカードに関わるトラブルが続出している。多くの国民から延期・中止を求める声が上がっているため、政府は「聞く耳」を持ち、それらの声に応えるべきだと考える。膨大な経費と手間がかかり、新たなトラブルも起こり得るので、保険証の交付を引き続き求めるものである。</p> <p>【不採択に賛成(津谷)】 医療DXを進展させる重要な基盤。資格確認書を交付し、現行の保険証が廃止されても保険料を払っている人が確実に保険診療を受けられる。現行の保険証の維持より、マイナ保険証にした方が総コストの減少は見込まれ、事務負担軽減などのメリットがある。</p> <p>【不採択に反対(高木)】 マイナンバーカード取得が任意なら、マイナ保険証だけではなく現行の保険証の利用継続が当然。申請と利用について社会的弱者の負担が大きすぎる。問題がある度、政府は多額の税金を使って対応しているが、現行の保険証を利用できるようにすれば、その必要はない。</p>			
	(賛成) 吉澤、向山、高木 (反対) 古村、松澤、栗林、牛丸、小澤、本多、林、本田、小林、津谷			
陳情 第15号	私立学校に対する公費助成をお願いする陳情書 ・提出者：中信地区私学助成推進協議会 会長 田中保子	福祉教育 賛成 4 反対 3	採択 賛成 10 反対 3	提出あり
	(賛成) 古村、吉澤、小澤、向山、本多、高木、林、本田、小林、津谷 (反対) 松澤、栗林、牛丸			
陳情 第16号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出を求める陳情 ・提出者：原水爆禁止上伊那地区協議会 会長 野口俊邦 上伊那地区労働組合会議 議長 松田元伸	総務産業 賛成 2 反対 4	不採択 賛成 4 反対 9	提出なし
	<p>【不採択に反対(高木)】 核兵器のあらゆる活動を例外なく禁止した画期的な国際条約。唯一の戦争被爆国である日本は、この条約に署名批准し、核におびえることなく安心して暮らしていける世界を目指し、世界の国々に核兵器の廃絶を訴えていく必要がある。</p> <p>【不採択に賛成(松澤)】 核保有国が参加していない核兵器禁止条約は核軍縮に繋がらないため、日本は先ず自国の安全保障を万全にすることが必要。その上で、唯一の戦争被爆国として国際社会の合意形成の要となり、保有・非保有国双方への対話をもって核軍縮を進め核廃絶に導くことである。</p>			
	(賛成) 吉澤、向山、高木、小林 (反対) 古村、松澤、栗林、牛丸、小澤、本多、林、本田、津谷			

議員提出議案の審議

議案番号	件名及び提出先	審議
発議 第1号	私立高校への公費助成に関する意見書の提出について [提出先] 内閣総理大臣、法務大臣、財務大臣、文部科学大臣	採択
発議 第2号	私立高校への公費助成に関する意見書の提出について [提出先] 長野県知事、長野県総務部長	採択
賛否が分かれた発議 第1号、第2号	(賛成) 古村、吉澤、小澤、向山、本多、高木、林、本田、小林、津谷 (反対) 松澤、栗林、牛丸	

総務産業常任委員会

事業会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月11日・12日に町長・担当職員出席の下で審査し、13日に現場審査を行いました。

決算審査

■辰野町一般会計歳入全部と歳出のうち議会費、総務費、衛生費（水道費）、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、交際費、予備費
※5か所の現場視察を実施したところ問題は無く、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

■辰野町上水道事業会計決算
管渠（かんきょ）工事は、上辰野地区配水管布設工事。老朽施設の更新工事は中央水源送水ポンプ2号及び電動弁更新工事ほか4件。
・収入総額 4億738万円
・支出総額 3億7,060万円
・収支差額 3,678万円の黒字決算

■辰野町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分
未処分利益剰余金1億779万9,486円のうち、6,500万円を資本金に組み入れたい。

■辰野町上水道事業会計決算
管渠（かんきょ）工事1件、処理場整備事業1件、老朽施設の更新工事は、7か所のポンプの更新。
・収入総額 9億7,064万円
・支出総額 8億9,345万円
・収支差額 7,719万円の黒字決算

■辰野町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
未処分剰余金7,719万3,625円を減債積立金に積み立てたい。



辰野町の
デザインマンホール

- ・町の木
「しだれ栗」
- ・町の花
「福寿草」
- ・特別シンボル
「ゲンジボタル」

■辰野町地域情報告知システム特別会計決算
・歳入総額 1,638万円
・歳出総額 1,465万円
・差引金額 173万円は翌年度に繰越し

問 地域情報告知システム「ほたるねっと」で使用
中のFOMA（ドコモ3G）は、2026年3月31
日のサービス終了に伴い停波する。今後のシス
テム更新の予定は。

答 現行と同じシステムは難しい。情報配信であ
ればスマートフォンに対するメール配信などの方法
に置き換えることも検討していく。



情報端末装置

※特別会計決算の5議案は、採決の結果、全員一
致で可決・認定すべきものと決しました。

条例審査

■辰野町犯罪被害者等支援条例の制定
犯罪被害者やその家族の被害の早期回復や軽減、
日常生活の再建を図るための条例。

問 助成金は規則で定めるのか。

答 助成金については要綱を定め、同時期に公示で
きるよう準備を進めている。

■辰野町農業集落排水処理施設の管理に関する
条例の一部を改正する条例
使用料徴収などの変更のほか一部組合の解散に伴
う条例の一部改正。

■辰野町営住宅管理条例の一部を改正する条例
犯罪被害者等支援条例制定に関連し、犯罪被害者
等の居住の安定を図ることを目的としている。

※条例審査の3議案は、採決の結果、全員一致で
可決すべきものと決しました。

陳 情 審 査

□陳情第 16 号

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出を求める陳情

◇趣旨

2017年に国連総会で採択された核兵器禁止条約は、核兵器の開発、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇を禁止するものであり、核兵器完全廃絶につながる画期的なものである。原爆被害を体験した日本の政府は、核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立たなければならないとし、日本政府が核兵器禁止条約に調印し、批准することを求める意見書を国会及び政府に提出することを求める。

○審査の主な意見

- ・核の傘という議論が前提としてあると、核が固定化されてしまい核廃絶の動きが一步も進まなくなってしまう。
- ・核兵器の脅威について国民の理解を深める必要がある。
- ・同盟国である米国との関係を踏まえた上で、自衛力の強化を検討すべき。
- ・人道面から核兵器廃絶を求めるべき。
- ・核兵器の使用可否について国内での議論を深めるべき。

※採決の結果、賛成 2・反対 4 となり、この陳情を不採択すべきと決しました。

町 長 へ の 要 望

- ◆町のホームページに関しては、更新頻度を高め、常に新しい情報を入手できる環境を整えることを求めてきたが、残念ながら部署により内容の充実度合いにバラつきがみられる。各課の情報更新の担当者を設け、課長を責任者として更新頻度を高め、常に新しく正確な情報が伝わる仕組みを整えることを要望する。

町長

各課情報担当者に改めて周知し、課長などと連携しながら、ページの点検、整理を実施して、最新の情報が掲載されるようにする。トップページのレイアウト変更も視野に入れ、新着情報が見つけやすい、分かりやすいホームページとなるよう努める。

- ◆産業振興課の役割が多岐にわたり、それを担うマンパワーと、専門性を備えた人材の不足による業務の停滞が心配される。適材適所の人員配置と、必要に応じて外部からのアドバイスを受けながら重要課題に取り組むことができるように検討することを要望する。

町長

今年度、長期的な課題解決の年として、産業振興課に限らず、各課がそれぞれ重要課題に取り組んでいるが、担当課だけでは対応に限りがあることから、必要に応じ、組織横断的なプロジェクトチーム等を編成し協力して検討を進めている。

- ◆看板商品創出事業については、ガイドブック制作などを通じ、住民の関心も高いものになっている。この事業をより実のあるものに発展させるためにも、町が十分に主体性を発揮し、事業者と地域をつなげていくことができるように、仲介役の役割をしっかりと果たすことを要望する。

町長

地域独自の観光資源を活用した看板商品創出事業は、松茸が育つ山のモニターツアー、薬膳料理体験プログラムを柱に、川島地区の豊かな自然や食材等を堪能する体験企画である。農業体験や山菜などを使った薬膳料理を体験していただく内容となっている。町としても、地元住民の理解と協力が得られるよう、情報共有や関係団体の連携を進め、顧客満足度が高い体験企画となるよう取り組みたい。



横川溪谷の紅葉

福祉教育常任委員会

事業会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月11日・12日に教育長・担当課職員出席の下で審査し、13日に現場審査を行いました。

決算審査

■辰野町一般会計歳出のうち民生費、衛生費（水道費を除く）、教育費

※3か所の現場視察を実施したところ問題は無く、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

■辰野町国民健康保険特別会計決算

新型コロナウイルス感染対策として傷病手当金の支給を実施、健康保持増進を目的とした保険事業を実施。被保険者数は年間平均3,781人、加入率29.5%。歳入歳出差引156万円を翌年度に繰り越し。加入者状況において、転出者111人に対して転入者が160人と上回ったが、後期高齢者医療保険への移行者が334人と顕著で、加入者の減少が大きい。国保基金からの繰り入れが増加し（前年比3,107万円）、基金残高は減少した。

■辰野町国民健康保険診療所特別会計決算

受診者数は、前年比45人減の298人。歳入歳出差引22万円を翌年度に繰り越し。

■辰野町後期高齢者医療特別会計決算

後期高齢者医療保険は、75歳以上の高齢者及び65歳以上で一定程度の障がいのある方が加入。被保険者数は、4,086人で前年度比80人増。歳入歳出差引60万円を翌年度へ繰り越し。

■辰野町介護保険特別会計決算

介護保険サービスは在宅サービス及び施設サービス合わせて、27,448件の利用。また、介護予防・日常生活総合支援事業を中心に地域支援事業を継続実施。歳入歳出差引8,784万円を翌年度に繰り越し。

■辰野病院事業会計決算

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、内科、小児科を中心に外来患者数が増加。発熱外来担当医師の確保で、逼迫状態の発熱外来診療及び、新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れ、集団接種会場としてワクチン接種事業を行うなど、

公立病院の役割を果たすことができた。

- ・収益的収入 23億9,400万円
- ・収益的支出 23億3,630万円
- ・収支差引 5,770万円の黒字決算

問 入院患者数と病床稼働率を見ると、令和4年度は前年よりは増加しているものの、コロナ前には戻っていない理由は。

答 新型コロナ対応の病床を用意しているがその稼働率が上がってこなかったことに加え、全体でも入院を控える傾向はある。

問 外来患者数は増加しているものの、新型コロナ感染者の増加によるところが大きいと思われ、令和5年度以降の収益状況が懸念される。令和5年度の一般会計からの繰入金は、3億9,500万円でのよいのか。

答 予定どおり辰野病院経営戦略プランに沿って進める。

※特別会計決算の5議案は、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

条例審査

■辰野町再生可能エネルギー発電施設の設置及び維持管理に関する条例の一部を改正する条例

小規模な発電施設についても安心安全な施設設置と運用を求めため、第2条第2号中「30キロワット」を「10キロワット」に改め、発電出力合計値の基準を引き下げるために条例の一部を改正するもの。



太陽光発電施設

問 10キロワットはかなり厳しい基準か。

答 国や県の基準に合わせるレベルである。また住宅の屋根に設置するものに関しては、規制するものではない。

※採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

請願・陳情審査

□請願第 14 号

「健康保険証の交付を引き続き行うよう求める意見書」の提出を求める請願書

◇趣旨

来年秋に健康保険証の廃止が予定されているが、延期や撤回を求める声があるため引き続き健康保険証の交付を求める意見書の提出を求めるもの。

○審査の主な意見

- ・2025 年まで延期はされる。資格証明書も発行される。
- ・マイナ保険証のない人には、資格証明書が申請しなくても発行される。
- ・選択肢があることが大事。社会的弱者のためにはこれまで通り保険証の発行を。

※採決の結果、賛成 1・反対 5 となり、この請願を不採択にすべきと決しました。

□陳情第 15 号

私立学校に対する公費助成をお願いする陳情書

◇趣旨

私立学校への経常費補助金の増額、教育施設の拡充並びに、国・県の関係者に対して就学支援金制度の拡充・私学助成の増額に関する意見書の提出を求めるもの。

○審査の主な意見

- ・私立もだが公立の方が助成を必要としている。
- ・現在も助成がされているのでそれ以上は難しい。
- ・辰野町からも 33 人が、中信地区の私立へ通っている。
- ・私立学校に行かせたくても家庭の負担が大きいのは事実。

※採決の結果、賛成 3・反対 3 の同数となり、辰野町議会委員会条例第 16 条に基づき、委員長裁定により、この陳情を採択すべきと決しました。

町長への要望

◆老朽化する各学校のプールについて、「学校あり方検討委員会」、「ウォーターパーク跡地等検討委員会」等で今後の方向性について町民プールの活用を検討していただくことを要望する。

町長

老朽化の課題が顕在化しており、プールの改修も急務。今後の方向性として、

- ① 各校のプールをそれぞれ改修
- ② 1つの学校のプールに集約して改修
- ③ 民間施設の活用

上記 3 案について検討してきたが、具体的な結論には至っていない。学校のみで使用するプールよりも、町民も利用できるような施設を町全体で検討していく考えもある。今後、学校あり方検討委員会、ウォーターパーク跡地等検討委員会でも幅広くご意見をいただく。



辰野西小学校のプール

◆福祉の拠点となるべき地域包括支援センターの明確化についてと専門職の補強を要望する。

町長

地域包括支援センターの窓口が分かりにくいことから、役場入口の案内板に保健福祉課と並べて表示をした。相談件数も増加傾向にあり、プライベートに配慮した対応にも取り組んでいる。地域包括支援センターの設置基準としての専門職は、主任看護支援専門員、主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士であるが、今後の高齢化社会では人員が十分ではなくなる可能性がある。有資格者の人材確保や、資格取得に前向きな職員に対し、その支援も行ってく。



役場入口の案内板

総務産業常任委員会

庁舎 1 階会議室増設工事

事業費：1,782 万円

鉄骨造 平屋建



下田第三踏切廃止に伴う 町道 1551 号線他 道路拡幅改良工事

事業費：1,442 万円

公園施設長寿命化対策工事

(荒神山公園町民体育館)

事業費：1 億 1,916 万円



豪雨災害 林道桑沢線 復旧工事

事業費：
932 万円

荒神山公園 日除け施設設置工事

事業費：1,045 万円
日除け施設 1 基設置
移動式ベンチ 3 基設置



現地調査

令和4年度はどんな事業を行ったの？

実施された主な事業箇所を視察し、いずれも全員一致で認定すべきものと決しました。

福祉教育常任委員会



春宮介護予防センター改修工事

事業費：967 万円

玄関、ポーチ、ホール、調理室、
和室、トイレ廻りの改修工事。



辰野中学校駐車場

雨水等排水・舗装工事

事業費：462 万円

駐車場全面を舗装改修し、雨水
排水は浸透柵を設置し対応した。



辰野町民体育館

バスケットゴール改修工事

事業費：1,881 万円

既存バスケットゴール撤去工事
電動式折畳バスケットゴール 2 対
片開き式電動防球ネット 1 式



一般質問には 12 名の議員が登壇いたしました。
ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち	
板沢地区最終処分場建設計画について	向山
森林整備について	向山
野生鳥獣被害防止対策について	小澤
有機農業のまち宣言における今後の進行について	本多
ふるさと納税増収における町の戦略について	本多
小野飯沼地区太陽光発電施設について	牛丸
町政の進捗状況と情報の受発信について	林
みんなが活躍できるまち	
パートナーシップ制度について	向山
下辰野商店街の現状とこれからの活性化に向けて	小林
辰野駅前地区のまちづくりについて	栗林
役場臨時職員（会計年度任用職員）の待遇改善について	吉澤
会計年度任用職員（保育士）の待遇改善について	高木
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち	
带状疱疹の予防について	津谷
公共施設総合管理計画に照らして、老人福祉センターの建物の改築移転の検討を	小林
健康づくり・健康診断の推進について	栗林
国民健康保険税の引き上げについて	吉澤
健康保険証の存続について	吉澤
障がい者の通所入浴サービスについて	高木
補聴器購入の補助について	松澤
高齢者の SOS をどうキャッチするか	松澤
次代を担う人材が育つまち	
GIGA スクールの課題と対策について	津谷
学校給食への令和 4 年度の地元野菜提供の状況と、今後の進め方について	小林
教育環境と教育立町の推進について	栗林
子育て応援課の新設について	本多
被爆と戦争体験の子ども達への平和学習について	高木
子育て支援センターについて	高木
教育長の教育方針について	松澤
活力と魅力ある仕事のあるまち	
公の施設の指定管理者について	古村
辰野町荒神山を彩りある町に	本多
町の SDGs への取り組みについて	牛丸
商工業の将来の展望について	林
農地利用状況と対応策について	林
安全で快適に暮らし続けられるまち	
幹線道路沿線の倒木対策について	向山
空き家対策・遊休土地対策について	向山
生産森林組合に対する支援策について	古村
DX 推進とセキュリティ問題について	古村
デマンド型乗合タクシーの運用について	津谷
道路法改正によるアルコールチェックの義務化について	津谷
観光地としての横川深谷整備について	小澤
高齢者の足の確保について	小澤
水の恵みを未来につなぐ交付金事業について	小澤
8 月、国道 153 号線「辰野バイパス規制同盟会」発足への町長の思いは	小林
上水道料金の値上げについて	吉澤
両小野バイパスについて	牛丸
山間地域の公共交通について	牛丸
粗大ゴミの収集について	高木
スポーツ振興の現状と今後の対応策について	林
防災・減災の取り組みについて	林
道路の雨水の排水について	松澤

※ QR コードを読み取ると各議員の一般質問の様子をご覧ください。

森ビジョン 長期的な施業方法 の方針を



町長
恒続林、針広混交林など
研究が必要

森林の多面的機能維持への試みに町の支援を

問 単一樹種の一斉林を、多様な樹種・林齢で構成される多様な森林に変えていく必要がある。

課長 針広混交林の考え、森ビジョンの中に。

問 新たな施業の試みに町の指導・助言・支援を。

課長 町としてしっかり研究し、適切に対応する。

問 生産森林組合のあり方、どのようにしていくのかについて、町としても真剣に検討を。

課長 地域の森林を管理する生産森林組合に、今後も役割を担ってもらうために研究していく。

幹線道路沿いの倒木の予防として町・県が補助を

問 幹線道路沿線で倒木の怖れがある樹木を、町が取りまとめて伐採し、補助する制度導入を。

課長 県の条件、事業規模等確認し、可能であれば、森林づくり県民税を有効に活用したい。

意見 災害予防の視点から年次計画で取り組むべき。帯状の伐採に対して専門家の助言も。



道路に覆いかぶさる樹木

板沢最終処分場計画、新組合長への対応は

町長 早期解決を強く求めていく必要性を認識している。良好な関係を築きつつ、この問題について、熱意をもって伝え、理解を得ていく。

県のパートナーシップ制度の実施、町の対応は

副町長 県の制度開始に合わせて、町でも 7 つのサービスで対応。他の市町村の動向等見ながら、順次サービス拡大の対応をしていく。

意見 7 つのサービスに含まれない夫婦別姓（事実婚）について、積極的に検討をするべき。

空き家取り壊しによる固定資産税上昇への補助を

副町長 解体撤去工事に 20 万円限度で補助しており、自主的な取り壊しを促進したい。

古村 幹夫 議員



町内の
生産森林組合に
期待することは何か

町長
活動はとても重要であり
地域を守る存在

町内の生産森林組合の現状は

町長 8地区の生産森林組合がある。いずれの組合も高齢化や後継者不足により組合員は減少傾向。財産収入の少ない組合もあり、生産森林組合をはじめとして、林業に携わる皆さんを取り巻く環境が、年々厳しくなっていることを懸念している。

問 生産森林組合持続のためにも、法人町民税の減免や補助金増額の考えは。

課長 課税負担は経営に大きくかわる事項としてとらえている。関係部署と情報共有を図りながら研究を進めていく。

これまでに町に対するサーバー攻撃はあったか
また情報セキュリティリスクへの対策は

課長 業務の停止などは発生していないが、日々何かしらの攻撃を受けている。県が構築した自治体情報セキュリティクラウドを利用するなど、予防策を講じている。

問 辰野病院におけるランサムウェア対策は。

病院事務長 インターネットと医療系ネットワークは分離している。またUSBメモリーは使えないなど、感染リスクを小さくする対策をしている。

問 辰野病院における情報漏洩防止策は。

病院事務長 データの持ち出しはできないパソコン設定になっている。また職員に対する情報セキュリティなどの研修を行っているほか、電子カルテ閲覧のログチェックを定期的に実施している。

たつのパークホテルの利用者数など、どのような変化があったか

課長 4月から6月までの間で宿泊者は12.6%の減。会食は21.2%の増。日帰り入浴は9.8%の減となっている。5カ年計画の中で運営体制、サービスの改善に努めているとのこと。



何回も訪れたい施設に

問 大手旅行会社との提携やふるさと納税返礼品の企画製造など、選考時の提案の進捗状況は。

課長 町として指定管理者に回答を求めたが、質問に対する具体的な回答はなかった。管理者変更後半年となるので、今後の取り組みに期待したい。

津谷 彰 議員



带状疱疹ワクチン
接種の費用を
助成する考えは

町長
令和6年度より
助成事業を開始する

GIGA スクールの課題と対策は

問 特別支援教育や不登校児童生徒への活用、心の変化のキャッチなどタブレットの活用状況は。

課長 特別支援学級には、特別支援学級用のソフトが入ったタブレットを整備して、個々の生徒の特性に応じている。不登校の児童生徒には、Zoom等を活用し学校と家庭をつなげていて、定期的に先生と連絡を取る児童もいる。希望者には学級の授業をリモート配信する。心の変化の早期キャッチとして、長野県統一の端末用相談フォームを今後活用する検討を始めた。児童生徒が自宅や学校から随時SOS発信できる体制を整えるもので、早期発見、早期対応につなげる。



中学校で使用しているタブレット

問 情報モラルや、リテラシー教育の取り組みは。

課長 町内の全小学校に対して、情報モラルや、情報を適切に使いこなすための力がつくように学習や研修を行う義務付けている。文部科学省の情報モラル教育ポータルサイトの中に学習コンテンツ、啓発資料、事業実践等が小中学校別や、学年別に掲載されている。これらを活用して今後さらに進めていく。

要望 端末の更新等、予算確保や環境整備経費等を国費で措置するように声を上げてほしい。

デマンド型乗合タクシーの課題と今後は

問 AI配車システムを導入した実証運行中の主な課題と今後の取り組みは。

課長 道路状況、立地条件により、自宅前の送迎に行けない。車両のサイズの選択が今後の車両更新時の課題になっている。新たな利用者の獲得に向けた広報、外出目的となる企画や、情報発信などの取り組みを実施する。また、事業採算性の確保にも取り組みながら、施策の実現を図る。

要望 地形を考慮した、軽自動車の導入や、マイナンバーカードの活用などの環境整備を要望する。

その他

・アルコールチェック義務化の推進は

野生鳥獣被害の増大による影響を町は、どのように考えるか

町長

営農意欲の減少や
離農者増加がみられる



問 被害額の大きい猿の行動状況調査結果は。

課長 猿の群れは横川川から北の小野地区に2群、南の小横川地区に2群の4群が生息していると推定。それぞれ50頭以上と推測。

問 今後の猿による野生鳥獣被害防止対策は。

課長 引続きGPSを使用し、行動調査と、捕獲対策として大型檻の設置並びに地域ぐるみによる追い払い対策を実施していきたい。



観光地としての横川渓谷整備は

問 横川ダム湖周辺の繁茂した樹木伐採を長野県に働きかけることは出来ないか。

課長 県に働きかけることは出来るが、樹木の範囲が広すぎるため具体的な場所を示す必要がある。関係団体と相談し、資料や要望書の提出をお願いしたい。

高齢者の足の確保は

問 ドアツードアに変更してのデマンド型乗合タクシーの実証実験による利用状況と傾向は。

課長 1ヶ月あたりの平均利用者数は約520人で、従前の仕組みより約200人増加している。利用状況については、80歳代の方が全体の6割を占めている。

問 川島線を、通勤通学により利用者が多い朝夕の時間帯は引続き定時路線バスを運行し、他の時間帯をデマンド型運行とすることは出来ないか。

課長 今後実施する町民アンケートの結果などを集約し、住民ニーズに最も適した運行方式を選択していきたい。地域の実情にあった公共交通の実現を図っていきたい。

交付申請期限が迫っている「水の恵みを未来につなぐ交付金」の活用方法は

問 防災アプリの導入は出来ないか。

副町長 現在防災アプリの導入は考えていない。

老人福祉センターの改築移転の検討を

町長

保健福祉センター(ぬくもりの里)への移転を検討する



問 2016年から2025年の辰野町公共施設総合管理計画が策定されており全国平均より高い比率で公共施設を所有している。改修、整理進んだのか。

課長 一人当たりの公共施設保有率6.1㎡、長野県同レベル町村5.6㎡で、整理を進めなくてはならない。今年度中に進行状況詳細を議会に提示予定。

要望 公共施設総合管理計画に照らして老朽化が甚だしい老人福祉センターの移転検討を。

町長 保健福祉センターでの、コロナワクチン接種も今年度終了する。雨漏り、空調設備無し等課題を抱える老人福祉センターを保健福祉センターへ移転検討を進める。



下辰野商店街の現状とこれからの活性化に向けて

問 トビチ商店街には現在何店舗が出店しているのか。出店数と業種は。

課長 29店舗が出店。内訳は飲食店7、雑貨6、カルチャー6、オフィス3、宿泊1、工房2、その他レンタサイクル等。

問 おしゃれな店が出店しているが、日常生活用品が買える店がない。町でコンビニ等を誘致する考えはないか。

課長 コンビニやスーパーの誘致は難しい。従来の商店に日常使う商品を扱う事をお願いする。

要望 下辰野商店街にコンビニ誘致か、日常生活用品を扱う店の検討を。

学校給食への地元野菜の提供状況と今後の進め方は

課長 令和4年度約200万円分地元野菜の供給があった。長ネギ、小松菜、キャベツ、馬鈴薯、玉葱等、50万円を町から助成。

問 見えてきた課題は。

課長 野菜の種類が少ない、提供期間が短い、発注と実際の出荷量が読めない等が課題。

要望 「有機農業のまちづくり宣言」をした辰野町、学校給食食材から有機農業の推進を。

辰野バイパス期成同盟会発足への町長の思いは

町長 道が町を変える。時間と労力とお金が必要、着実に皆さんと共に覚悟をもって進める。

栗林 俊彦 議員



次世代を担う 子どもたちの 育成と将来像は

町長

故郷に誇りを持ち好きなことに果敢にチャレンジしていく人

吉澤 光雄 議員



上水道料金 値上げ 避けられないか

町長

水道審議会で審議中の為
答えられない

辰野町が目指す教育ビジョンの基本理念は

教育長 教育委員会では、子どもたちには未来に向かって生きる力を身につける手だてとして、確かな学力を身につける、豊かな人間性を獲得する、心身ともに健康である、の3点を挙げている。子供たちにとって必要とされる教育施策については、国や県の動向を待たずに対応を図っていく。

問 令和10年度以降の辰野町立小中学校のあるべき姿、少子化・老朽化に応じた新たな学校作りは。

教育長 広く町民の意見も聞き、途中で情報も公開をしていくなど、町全体の学校のあり方について、おおむね2年と区切って進めていく。

辰野駅前地区まちづくり基本計画案とは

課長 駅前広場や都市計画道路の計画の見直し、歩道の設置を含めた道路改良や駅前の環境整備、空き地を利用したポケットパーク、防火水槽の設置等が駅前まちづくりプラン提案書に盛り込まれている。そのほかに、街なみ環境整備事業を活用し整備方法や街なみ誘導計画を記載したもの。

問 まちづくり基本計画を具体的に進める計画は。

課長 年内に、駅前まちづくり協議会を開催して、実現に向けて問題を解決していく。



駅前広場計画案 3Dイメージ

健康づくりの意識啓発と方法は

課長 自分の健康は自分の手でこつこつ取り組む健康づくり、をキャッチフレーズに掲げている。子どもから高齢者まで町民一人ひとりが、身体やこころの状態を知り、自分らしくいきいきと過ごしてもらうため、健康ポイント事業など、さまざまな事業を行っている。

問 健康ポイント事業の概要と実績は。

課長 町や職場での健康診断や人間ドック、各種がん検診、歯科検診、健康教室、ウォーキング等への参加によりポイントを貯めることができる。100ポイントで町内商品券1,000円分と交換できる。健康ポイント交換者は、令和元年度から196名、111名、133名、356名と推移している。

問 水道会計は毎年黒字で、蓄えた利益剰余金が5億7千万円、現預金は年間総経費を1億7千万円上回る5億4千万円。仮に1年間水道料が入らなくても運営できる財務状況だ。改善課題はあるが健全経営では。

課長 単年度の収益性は問題ない。ただ人口減少などによる収入減、施設更新、維持管理費増加に伴い令和7年度以降赤字になる見込み。黒字経営維持の為、値上げが必要と判断した。

要望 物価高騰下での値上げは困る。さらに経営努力し、仮に多少の赤字が出ても蓄えた財力に対応し、一般会計からの繰入も検討して欲しい。



辰野町の水道

国保税値上げ

問 町は令和9年度に国保税が県的に統一されるので値上げが避けられないと説明したが、町議会が保険税額を決めるルールは変わらないのでは。

課長 国保税統一が値上げの理由ではないが、県から保険税統一を目指す案が示され、赤字が続き基金の底が見えているので、県の方針に沿い値上げせざるを得ない状況だ。これを認める答申も得たので、理解いただきたい。

問 町は値上げを抑える為、一般会計から国保会計に繰入したことがある。伊那市は値上げ回避の為、この2年間毎年9千万円繰入した。町が年9百万円繰入すれば、今回の値上げは避けられる。町の貯金は昨年3億56千万円増え、自由に使える貯金が23億円ある。赤字補填の繰入出来ないか。

課長 ペナルティがあり、難しい。

要望 子どもの医療費無料化もペナルティがあったが、多くの市町村が実施した。ぜひ財政支援を。

役場臨時職員（会計年度任用職員）の待遇改善

問 臨時職員に勤勉手当を出せるようになるが。

副町長 労組とも協議し、細部を詰めていく。

その他

・健康保険証存続を

学校給食における有機野菜導入の進捗状況は

町長 導入に向け 進めている



本多 慶司 議員

有機農業推進のまち宣言における今後の進捗は

問 有機野菜の学校給食導入における発注経路開拓の進捗状況は。

教育長 町内小中学校、保育園の給食に有機野菜を取り入れていくことは色々と困難な部分もある。周知をしていく部分でも前向きには取り組むが、様々な動向を見ながらの動きになる。

ふるさと納税増収における町の戦略は

問 ふるさと納税増収における町の戦略については、辰野町の返礼品が確認できるポータルサイトは3つのみだが、販売促進費をもっとかけるべきでは。

課長 出品事業者とは密なコミュニケーションをとり良い関係を築けている。今後はサイト構築に向けて中間事業者の採用も視野に入れていく。また、町のイベントやアンテナショップを通じてPRを行い、注目度を高めていく活動も行っている。商品の拡大、サイトの見せ方に注力していく。

問 返礼品や体験プランが高付加価値になるような取り組みが必要では。

課長 松茸だけではなくその他の1次産業商品も商品化できるよう努めていく。1次産業の商品化においては生産者の方々にも理解をいただけるよう努める。



ふるさと納税返礼品の充実を

新設された子育て応援課の周知は

問 子育て応援課が新設され、新しい取り組みなどが周知されていないのでは。町民へのPRがもっとあっても良いのでは。

課長 新設の一番の目的は窓口の一本化である。広報たつのなどを通じて町民の方々にも今後の取り組みを伝えていきたい。また町でのイベントも活用し子育て応援課のPRをしていく。

その他

・辰野町荒神山を彩りある場所に

小野太陽光発電施設に対する町長の姿勢は

町長 条例違反には毅然たる 態度、措置を取る



牛丸 圭也 議員

小野飯沼地区太陽光発電施設現状は

問 5月22日の町長声明以降の経過は。

課長 9月4日、現地で業者が作業を進めているという情報があった。設置されていないパネルの搬出をすることを現地で確認した。

問 今後予想される展開は。

課長 施設の完全撤去へ向け早期対応が行なわれるよう、引き続き対応する。

両小野バイパスの進捗状況は

課長 長野県建設部長に要望書を提出し調査費が付いている。アンケート調査から抽出された課題を意見交換会で説明する。

問 塩尻市は同じ意識を持っているか。

課長 両市町とも理事者が一緒に活動しており、同じ意識で対応している。

問 両小野バイパス建設期成同盟会を行政主導にする考えは。

課長 両小野地区の協議が整った後、他地区を取り入れ、塩尻市と一緒に行政主体の期成同盟会へ再編し、活動を行う必要があると認識している。



小野駅に設置されている看板

理想的な山間地域の公共交通は

問 町営バス飯沼線の現状は。

課長 令和4年度の利用人数は1,405人。一利用者一回の行政支出額は3,304円。

問 山間地域の公共交通のあり方は。

課長 住民ニーズや課題を把握した上で検討したい。デマンドタクシーが全地域に適合するとは考えていない。塩尻市が実施している路線バスを維持したハイブリッド方式やAI活用型オンデマンドバス「のる〜と」など、飯沼線の運航区域に合う方式を研究する。

町のSDGsへの取り組みは

問 SDGsの17目標のうち9つを達成できる古着deワクチン(*)を町主導で展開することはできないか。*不要になった衣類等を処分することでポリオワクチンを寄付できる仕組み

課長 市町村の動向を注視していく。

高木 智香 議員



被爆地広島に 児童生徒使節団の 派遣を

教育長
貴重な体験ができるが
移動時間がかかる

問 小中学校で原爆パネル展をしては。

教育長 原爆のことを考えるのは大切だが、そこだけに焦点を当てず、平和のありがたさを子ども達と考えていく。



全国から参加した使節団

問 町で行われている平和教育は。

教育長 毎年中学3年生は戦争体験を聴く機会がある。戦争は過去のものではない。平和な生活は非常に尊いことだと子ども達に教えていく。

障がい者の通所入浴サービスの現状は

問 町内の障がい者を受入れている箕輪町の基準該当サービス事業者と話す中で、等級に関係なく一律の報酬の基準該当サービスと、等級によって報酬の異なる介護保険サービスの報酬に差が発生することがある。差額分を補助しては。

課長 国で決まった報酬のため、特定のサービスや事業所にだけ補助することはできない。まずは箕輪町や他市町村の事例を調査したい。

問 町内に障がい者が通って入浴できる施設がないが受入れをお願いしては。

課長 入浴設備があり、利用定員に余裕があるか、職員体制等の条件をクリアする事業所があれば、障がい者の受入れをお願いします。

来年4月以降も粗大ゴミの収集の継続を

課長 クリーンセンター八乙女が民間委託になるため、シール制から重量制に。すぐに収集を廃止せず経過措置で、収集場所を減らしての継続を検討。助けが必要な方へは事業者等を案内し、周知に努める。

会計年度保育士の報酬を増やし退職手当を

課長 令和3年度の国の処遇改善特例事業により3%引き上げている。町で雇用する会計年度職員全員に関わることで直ちに報酬の改善は難しいが、国や県、他市町村の動向をみて考える。

副町長 会計年度職員はパート扱いとなり退職手当は支給できない。

その他

- ・子育て支援センターの周知と活性化は

林 政美 議員



町長2期目 前半の進捗状況と 自己評価は

町長
総合計画にある
将来像を実現したい

町長 コロナ対策が優先され、課題が残されている。課題解決の取り組みを着実に進めていく。道半ばであるので自己評価はできない。

問 町民の声を聴く手段と利用状況は。

課長 ホームページでの問い合わせ件数は昨年度255件、本年度は8月までで126件あった。LINEは現在1,870人が登録しており、1年間で登録者は300人増えた。登録者を増やすよう、コンテンツの充実を図る。SNSへの情報発信に取り組む。

現状を踏まえた商工業の展望は

問 商工業の現状から見える町の所見は。

課長 商業は28事業所、製造業は27事業所が減少している。後継者不足の解消に重点をおき対応していく。

問 地域おこし協力隊の商業部門への関わりと将来の町づくりの展望は。

課長 飲食店等下辰野商店街に出店している。空店舗数も減少。若者の呼び込み成果はでてきている。協力隊・若者・商工会・町も一緒に将来を展望する。



気軽に立ち寄れるコーヒースタンド

問 商工業振興への支援金とその成果は。

課長 補助金実績は、40件4,019万円。空地店舗への補助金も支給。資金の必要時に事業者が利用。

問 工業団地の現状と企業誘致の状況は。

課長 北沢で17企業。新町で7企業が進出。北沢で1件が空工場。新町1区画を地権者と交渉予定。

スポーツ振興の現状と今後の対策と展望は

課長 現状の課題は、中学校の部活動の地域クラブへの移行がある。新たなスポーツ環境の構築が求められる。展望は、多様な子どもが参加しやすい環境を実現すること。施設利用状況は回復・増加傾向にある。対策は、継続的に合宿に訪れて戴くよう依頼。新規の合宿も増やす。

その他

- ・防災・減災としての山林整備の現状と対策は
- ・農地利用の状況の把握とその対策は

難聴の高齢者へ 補聴器 購入助成を

町長

来年度から65歳以上の
高齢者に補助する



町長 国の研究にもあるとおり、補聴器で聴力を補うことにより認知症予防に一定の効果が見込めるということで、65歳以上の中度の難聴高齢者を対象に、来年度から補聴器購入補助金制度を開始する。最大、購入費の2分の1、3万円を上限に補助する。

4月以降購入された機器を対象とし、高齢者の社会参加を促していく。機器の寿命は5年程度といわれているため制度利用から5年経てば、再利用が可能になる。



補聴器

道路の雨水排水の整備状況は

問 工事後1年10ヶ月で再度溢れた町道の雨水の排水は。

課長 現場を確認し、区長と相談して緊急を要するものから対応している。近年の異常気象に対応することは困難である。砂防事業による砂防環境施設の整備が必要と考えている。

高齢者への緊急通報システムは

問 令和8年3月末で終了するほたるネットの緊急通報システムは。

課長 今年度中にほたるネット利用者に、緊急情報をどのような手段で取得しているかのアンケート調査を行う予定だ。また昨今ではスマートフォンなどを利用する人が多いので、メールやLINEを活用した配信を主としていきたい。ただスマートフォンを持たない人もいるため対応を考えていく。

問 独居高齢者の緊急事態の受け止めは。

課長 民間業者の、センサーの反応で確認するシステムやボタン一つでスタッフが駆けつける有償見守りサービスを利用している人もいます。

4期目を迎える教育長の目指す教育とは

教育長 五感を活用して学ぶ実体験とそれを効率よく進めてくれるタブレットなどのICTを駆使し、生きる力を身につけること。また家庭において子どもは、会話ができて相談できる環境を求めている。自己肯定感を大切にしたい教育を目指す。

議会インフォメーション

令和5年 ほたるの里

中学生議会が開催！

10月31日、中学生議会が辰野町役場の議場で開催されました。辰野、両小野の中学校3年生10人が、中学生の代表として町へ一般質問を行いました。町政に対して日ごろから疑問に思っていることや日常生活からの希望や提案などを町理事者に提案等を行いました。中学生の視点で身近な問題に関心をよせ、町の課題が明確になった中学生議会となりました。詳しくは議会だよりNo.92に掲載します。お楽しみに！



第16回 辰野町議会主催 町民と議員の タウンミーティング 開催のご案内

- ◎樋口区
11月15日(水) 午後7時～
樋口コミュニティセンター
- ◎上島区
11月18日(土) 午後3時～
がおん伝承館

議員全員でお伺いし、議会活動の報告や、地域の課題などの懇談をいたします。

※順次、各区にお伺いします。

これからも
みんなの声を
聞きにいこう



辰野町イメージキャラクター
ぴっかりちゃん

議員が町に出て
聞きました

町民の声

テーマ 次世代に受け継ぎ、残していきたいもの



小澤 晃さん(小野)

矢彦神社秋の大祭に向け五穀豊穡を願い、お囃子を奉納させて頂く為、子供達と每晚お囃子の練習を行っています。子供たちには、地元の伝統文化を肌で感じ、お祭りの楽しさや、その意義を深めて頂き、地元に対し特別な思いを抱いてくれればと思います。

笑顔です。私は古着屋を営んでいますが、服を買ってお客様が笑顔になるのを見ると嬉しいです。次世代に笑顔を残し受け継ぐ為には、私が、大人が、自分の人生を楽しんで思っきり笑顔でいることが大切だと思っています。



金井 歩実さん(川島)

勉強したら遊んでいい、テレビを観ていいと子どもの頃に聞かされていた呪文は、どのくらい効果があったのでしょうか。楽しむこと、興味を持つことが大事。「笑って遊んだら学べてるよ」と次世代にも伝えていきたいです。



小山 幸代さん(下辰野)



野澤 柊さん(北大出)

辰野南小学校で「育ちの森」という森を育てる活動をしています。そこで思ったのが、自分のふるさとの森を守りたいということです。小学校の6年間で春と秋に植林と野鳥の巣箱掛けをしました。今年が小学校での最後の活動でした。この後もみんなで大事にしていてもらいたいです。卒業したあとも育ちの森に行って、自分達で育てた植林や巣箱を見にいきたいと思います。



赤津 江里子さん(平出)

生まれ育った富士見高原から辰野町に嫁いできて、初めて見る動植物に目を奪われる事が多々あります。中でも、ホバリングしながら花の蜜を吸っている「ホシホウジャク」を見た時にはマイクロサイズのハチドリがいるのかと驚いたものです。

子供達の笑顔を残したいと思います。少子高齢化では町は衰退するしかなくなってしまいます。活気ある町を取り戻すために、子育て世代を優遇する施策で人口流入を加速させて人口ピラミッドを最適化するようご尽力いただきたいと思います。



東 泰之さん(北大出)

次回定例会のご案内 12月定例会予定

開 会	11/30(木)
一般質問	12/7(木)・8(金)
委員会審査	12/11(月)・12(火)
閉 会	12/14(木)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

編集後記

今回は決算審査の内容を中心に編集を行いました。議会の様子が少しでも伝われば幸いです。これからも私たち議会の活動内容を町民の皆さまに分かりやすく発信してまいります。今後も皆さまのご意見、ご要望の声をお聞かせください。よろしくお願いたします。

広報編集委員 本多 慶司

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。